１次審査（書類審査）評価基準書

番号	項目	評価の視点・基準	評価区分	対象書類
1	認証	以下の認証の両方を有している。 □情報ｾｷｭﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ　ISO/IEC27001(JIS Q 27001) □個人情報保護ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ　JIS Q 15001(ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾏｰｸ)	定量的	登録証写し
2		以下の認証を有している。 □ISMSクラウドセキュリティ認証登録	定量的	
3	実績	地方公営企業法適用に係る基本方針策定業務（千葉県内の地方公共団体が発注し、下水道事業に関するものに限る。）の実績を有している。	定量的	業務実績報告書（様式第3号の1）
4		地方公営企業法適用に係る固定資産調査及び評価業務（同上）の実績を有している。	定量的	
5		公営企業会計システムの導入・構築業務（同上）の実績を有している。	定量的	
6		地方公営企業法適用に係る移行支援業務（同上）の実績を有している。	定量的	
7		□県内での公営企業会計システム導入実績（クラウド型に限る。）がある。 ※事業を単位とする。	定量的	企画提案書（任意様式）
8	実施体制	【予定管理技術者】 □技術士(上下水道)又はRCCM(下水道)の資格を有している。	定量的	業務の予定配置体制等一覧（様式第6号）
9		【予定管理技術者】 □地方公共団体が発注した業務のうち、公共下水道事業又は農業集落排水事業を対象とした地方公営企業法の適用に係る業務実績を有している。	定量的	
10		【予定照査技術者】 □技術士(上下水道)又はRCCM(下水道)の資格を有している。	定量的	
11		【予定照査技術者】 □地方公共団体が発注した業務のうち、公共下水道事業又は農業集落排水事業を対象とした地方公営企業法の適用に係る業務実績を有している。	定量的	
12		【予定担当技術者】※管理・照査技術者と兼任の場合は0点 □技術士(上下水道)、RCCM(下水道)又は日商簿記2級以上のいずれかの資格を有している。	定量的	
13		【予定担当技術者】※管理・照査技術者と兼任の場合は0点 □地方公共団体が発注した業務のうち、公共下水道事業又は農業集落排水事業を対象とした地方公営企業法の適用に係る業務実績を有している。	定量的	
14	見積金額	（最低見積金額）／（提案見積金額）×（配点）（小数点以下切捨て）	定量的	見積書（本業務分）
15	機能要件	（「標準機能」及び「無償カスタマイズ」の項目数）／（全項目数）×（配点）（小数点以下切捨て）	定量的	機能要件書（様式第7号）
16	実施体制	業務を遂行する上で適切な人員が確保されているか。	定性的	業務の予定配置体制等一覧（様式第6号）
17		公認会計士又は税理士による業務へのサポートが受けられる体制か。 □自組織に所属または専属の公認会計士又は税理士を配置している。 □配置する公認会計士又は税理士は豊富な公営企業会計関係業務の実績を有している。	定性的	
18	工程表	工程表は適切か。 □新予算編成に向け余裕のある工程を提案している。 □条例改廃については、議会への上程時期も考慮した提案がなされている。 □議会開催期間など、市の実情に配慮した妥当性の高いスケジュールとなっている。	定性的	工程表（任意様式）
19	基本方針策定	法適用の目的と効果がわかりやすく述べられている。	定性的	企画提案書（任意様式）
20		茂原市農業集落排水事業の現状と課題が把握されている。	定性的	
21		基本方針策定にあたり検討すべき事項が整理されている。	定性的	
22		県内他市町村における先行事例を踏まえた提案がなされている。	定性的	
23	システム導入	セキュリティ対策に関する記述がある。	定性的	
24		保守及び運用に関するサポート体制が整えられているか。	定性的	
25		提案するシステムを導入することにより、効率的で負担の少ない会計処理がが期待されるか（財務会計又は下水道事業の公営企業会計システムと比較し、システムの機能について見た場合）。	定性的	
26		提案するシステムを導入することにより、効率的で負担の少ない会計処理がが期待されるか（関係部署《農政課、下水道課、財政課、会計課》の業務について見た場合）。	定性的	
27		提案するシステムを導入することにより、将来的な費用軽減・業務の効率化が期待されるか。 □システム使用契約における使用料は安価か（他提案者と比較して）。 □下水道事業とシステムを合わせた場合に費用面での利点があるか。 □下水道事業との事務の共同化を検討する上で利点があるか。	定性的	見積書（システム使用契約分）・ 企画提案書（任意様式）
28	移行支援	法適用に必要な事項の整理は明瞭か。	定性的	企画提案書（任意様式）
29		支援内容は充実しているか。	定性的	
30		法適用後の事務を安定的に行えるような職員研修が計画されているか。	定性的	
31	自由提案	提案内容は現実的で具体性がある。	定性的	
32		提案内容は移行事務の円滑化や経営改善等の効果が期待されるものである。	定性的	
33		提案内容を実現するための方策が述べられている。	定性的	
34	全体評価	企画提案書の出来栄えは優れているか。 □企画提案書の構成・デザイン・図表等が見やすく工夫されている。 □記述内容は専門性と分かりやすさを両立している。 □提案内容に真摯さが感じられる。	定性的	企画提案書（任意様式）・その他書類一式

２次審査（プレゼンテーション・実機操作）評価基準書

番号	項目	評価の視点・基準
1	プレゼンテーション	【プレゼンテーションの構成】 □プレゼンテーションの構成は工夫され、与えられた時間を有効に活用していた。
2		【意欲】 □プレゼンテーションに業務への意欲が感じられる。
3		【わかりやすさ】 □企画提案の要点を明瞭に、平易な言葉で述べている（質疑応答の対応を含む）。
4		【効果的なプレゼンテーション】 □企画提案の内容を深める説明をしている。
5		【提案力】 □現実的で費用対効果の高い提言を行っている。
6	実機操作	【視認性】 □画面のレイアウトや色づかいが見やすい。 □選択する項目等が直感的にわかりやすい。
7		【操作性】 □処理画面へのスムーズな移行ができる。 □財務会計との親和性が高い（普段財務会計を使用している職員が違和感なく使用できる）。
8		□予算編成機能
9		□執行管理機能
10		□決算作成機能
11		□資産管理機能
12		□企業債管理機能
13		□出力機能（帳票、プレビュー、CSV等の見やすさ・使いやすさ）
14		□提案するシステムを使うことによって日々の予算管理・執行等の事務が効率化されるか（各所属での業務について、財務会計や下水道事業の公営企業会計システムと比較してどうか）。
15		□必要十分な機能を備えており、カスタマイズする場合の内容及び費用も妥当である。